

## 新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ヒト視床下部神経細胞の一次纖毛とその加齢変容の解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	新潟大学脳研究所にて保管している死後脳の組織標本（視床下部の凍結組織あるいはホルマリン固定パラフィン包埋切片）を対象とします。 研究対象者は死者であり、病理解剖で採取された組織標本の研究利用に対してご遺族から同意を得ている方になります。
③概要	本研究は、名古屋大学を主研究機関として実施されるものであり、新潟大学脳研究所に保管されている死後脳の組織標本（視床下部の凍結組織あるいはホルマリン固定パラフィン包埋切片）を名古屋大学に提供します。名古屋大学では、提供された脳組織に対して、肥満に関するメラノコルチン4型受容体（MC4R）に反応する抗体を用いた免疫組織化学染色を行い、MC4Rが神経細胞の一次纖毛（細胞表面の微細な突起）に局在しているかを確認します。局在が確認された場合には、一次纖毛の長さを測定し、加齢による変化を解析します。 研究対象となる方は本研究に対していつでも拒否する機会があり、拒否しても不利益が生じることはありません。
④申請番号	C2025-0093
⑤研究の目的・意義	本研究では、マーモセットのMC4Rタンパク質に反応する抗体を使って、免疫組織化学染色という方法でヒトの脳組織を調べます。 これにより、MC4Rタンパク質が人の脳のどこに存在しているかを明らかにします。 さらに、MC4Rが一次纖毛（細胞の表面にある小さな突起）に存在していることが確認できた場合には、年齢によってその纖毛の長さがどう変化するかを詳しく解析することを目的としています。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から：2028年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	本研究では、名古屋大学において、提供された脳組織に対して、MC4Rに反応する抗体を使った免疫組織染色という方法で、MC4Rが一次纖毛（細胞の表面にある小さな突起）に存在しているかを確認します。 染色によってMC4Rが一次纖毛に局在していることが確認できた場合には、その纖毛の長さを測定し、年齢・性別・体重・身長・体脂肪率・BMIとどのような関係があるかを解析します。
⑧利用または提供する情報の項目	・試料：死後脳の組織標本（視床下部の凍結組織あるいはホルマリン固定パラフィン包埋切片）・情報：患者さんの生前の健康・医療状態に関する情報（年齢、性別、死後時間、病理診断、臨床診断、神経病理スコア）。検体により、臨床録、画像情報を含む検査記録、投薬歴、病歴、

	体重、身長、体脂肪率の情報
⑨利用する者の範囲	<p>新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。</p> <p>【本学研究責任者】</p> <p>新潟大学脳研究所病理学分野 教授 柿田 明美</p> <p>【代表機関】</p> <p>名古屋大学大学院医学系研究科統合生理学 教授 中村 和弘</p> <p>【共同研究機関】</p> <p>東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野 准教授/福島県立医科大学神経精神医学講座 博士研究員/非常勤講師（兼務） 國井 泰人</p> <p>国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部 部長 高尾 昌樹</p> <p>国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部 医師 佐野 輝典</p> <p>国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部 医師 ハ木田 薫</p>
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所病理学分野 教授 柿田 明美
⑪お問い合わせ先	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学脳研究所病理学分野</p> <p>氏名：柿田 明美</p> <p>Tel : 025-227-0633</p> <p>E-mail : kakita@bri.niigata-u.ac.jp</p>